

鹿児島工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	英語 I B	
科目基礎情報							
科目番号	0013			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	都市環境デザイン工学科			対象学年	1		
開設期	後期			週時間数	4		
教科書/教材	〔教科書〕CROWN English Communication I New Edition (三省堂), 〔参考書・補助教材〕CROWN English Communication I New Edition Workbook Standard [スタンダード] (東京書籍), 夢をかなえる英単語 新ユメタン (0) (アルク), 真南風 (まはえ) 沖縄 (桐原書店), 総合英語be 3rd Edition, 総合英語be 3rd Edition English Grammar 46, コンパスローズ英和辞典 (研究社)						
担当教員	坂元 真理子, 曾山 夏菜						
到達目標							
1. 語彙と文法知識 2. 聞くこと 3. 読むこと 4. 話すこと 5. 書くこと							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	体系的に理解した語彙項目や文法項目を到達目標2～5の理想的な到達レベルの中で活用することができる。			教科書や副教材に出現する語彙や文法項目の意味や構造について体系的に理解し再生できる。		教科書や副教材に出現する語彙や文法項目の意味や構造について理解することができる。	
評価項目2	より実生活に近い題材やレベルの教材の内容や意味について理解し、それについて適切な反応を行うことができる。			与えられた課題や対話などの内容や意味について理解し、それについて適切な反応を行うことができる。		授業或いは自学自習で扱われる教材の内容について理解することができる。	
評価項目3	より実生活に近い題材やレベルの教材の内容や意味について理解し、それについて適切な反応を行うことができる。			与えられた課題や文章などの内容や意味について理解し、それについて適切な反応を行うことができる。		授業或いは自学自習で扱われる教材の内容について理解することができる。	
評価項目4	より実生活に近い題材やレベルの教材の内容や意味について理解し、それについて適切な反応を口頭で行うことができる。			与えられた課題や指示に沿った内容の文または文章を口頭で発表することができる。		授業或いは自学自習で扱われる教材の内容や与えられた指示通りに音声を口頭で再生することができる。	
評価項目5	より実生活に近い題材やレベルの教材の内容や意味について理解し、それについて適切な反応を記述で行うことができる。			与えられた課題や指示に沿った内容の文または文章を書くことができる。		授業或いは自学自習で扱われる教材の内容や与えられた指示通りに語句や文を再生することができる。	
学科の到達目標項目との関係							
本科 (準学士課程) の学習・教育到達目標 2 本科 (準学士課程) の学習・教育到達目標 2-b							
教育方法等							
概要	英文を読む・書く・聞く・話すための力を伸ばす。辞書を活用して自力で英文読解や英作文ができることをめざす。英語を使った学習活動を通して社会や自分のことに目を向け、考える力をつける。						
授業の進め方・方法	後期開講の英語 I Bと共に本校での英語学習の最初の段階で修得すべき科目として位置付けている。学修すべき内容は英語 I Bへ引き継がれる。						
注意点	予習・復習を十分に行之、語彙力・構文理解力の強化と内容理解に努めること。英語でのコミュニケーション能力向上のため授業の殆どは英語で行うので、授業中は英語でのコミュニケーションに努めること。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	Lesson 05 Section 1 / Lesson 06 Section 1		Lesson 05 Part 1 / Lesson 06 Part 1 の題材内容、言語材料、言語活動について理解し、正しく使用することができる。		
		2週	Lesson 05 Section 2 / Lesson 06 Section 2		Lesson 05 Part 2 / Lesson 06 Part 2 の題材内容、言語材料、言語活動について理解し、正しく使用することができる。		
		3週	Lesson 05 Section 3 / Lesson 06 Section 3		Lesson 05 Part 3 / Lesson 06 Part 3 の題材内容、言語材料、言語活動について理解し、正しく使用することができる。		
		4週	Lesson 05 Section 4 / Lesson 06 Section 4		Lesson 05 Part 4 / Lesson 06 Part 4 の題材内容、言語材料、言語活動について理解し、正しく使用することができる。		
		5週	Lesson 05 & 06 Comprehension & Your Reaction		Lesson 05 : 福祉の国の役割について理解し、自分の意見を簡単な英語で述べることができる。 Lesson 06 : 絶滅危惧種保護の必要性について理解し、自分の意見を簡単な英語で述べることができる。		
		6週	Lesson 05 & 06 Grammar & Exercises		Lesson 05 : 関係副詞 / S+V+O+C (C=分詞) / S+V+C (C=分詞) の使い方を理解し、正しく使用することができる。 Lesson 06 : 分詞構文 / it ~ that ... (形式主語) / 同格 の使い方を理解し、正しく使用することができる。		
		7週	Lesson 05 & 06 Wrap Up 1		Lesson 05 & 06 で学習した項目を整理し、理解を深めることができる。		
		8週	Lesson 07 Section 1 / Lesson 08 Section 1		Lesson 07 Part 1 / Lesson 08 Part 1 の題材内容、言語材料、言語活動について理解し、正しく使用することができる。		

	4thQ	9週	Lesson 07 Section 2 / Lesson 08 Section 2	Lesson 07 Part 2 / Lesson 08 Part 2 の題材内容、 言語材料、言語活動について理解し、正しく使用す ることができる。
		10週	Lesson 07 Section 3 / Lesson 08 Section 3	Lesson 07 Part 3 / Lesson 08 Part 3 の題材内容、 言語材料、言語活動について理解し、正しく使用す ることができる。
		11週	Lesson 07 Section 4 / Lesson 08 Section 4	Lesson 07 Part 4 / Lesson 08 Part 4 の題材内容、 言語材料、言語活動について理解し、正しく使用す ることができる。
		12週	Lesson 07 & 08 Comprehension & Your Reaction	Lesson 07 : 「仮設住宅」や「避難所」の役割につ いて理解し、自分の意見を簡単な英語で述べること ができる。 Lesson 08 : 写真の「能力」について理解し、自分 の意見を簡単な英語で述べることもできる。
		13週	Lesson 07 & 08 Grammar & Exercises	Lesson 07 : seem to ~ : it seems that ~ / 受動態 の完了形 / 形式目的語 it の使い方を理解し、正しく 使用することができる。 Lesson 08 : 仮定法過去 / S+V+O1+O2 (O2 = 疑問 詞節) / 付帯状況のwith の使い方を理解し、正しく使 用することができる。
		14週	Lesson 07 & 08 Wrap Up 1	Lesson 07 & 08 で学習した項目を整理し、理解を深 めることができる。
		15週	Lesson 07 & 08 Wrap Up 2	Lesson 07 & 08 で学習した項目を整理し、理解を深 めることができる。
		16週	試験答案の返却・解説	試験において誤った部分を理解できる。

評価割合							
	試験	平常点	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	30	0	0	0	0	100
基礎的能力	70	30	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0